

## 「学校教育目標」と「令和7年度重点目標」に向けて

学校教育目標 「豊かな心 確かな学び 健やかな体」  
令和7年度重点目標 「自分でしっかり考え、仲間を思いやり、学び合おう」

### 豊かな人間性

- ・読書を通して見方・考え方を広げる。
- ・思いやりのある丁寧な言葉遣いを身につける。
- ・道徳人権教育の充実を図る。

### 健康・体力

- ・運動や外遊びを通じた体力・柔軟性の向上
- ・基本的な生活習慣の確立(早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き・手洗い・ゲームや動画の視聴時間)

### 資質・能力の育成

学校研究課題「自らよく考え、仲間と共に学び合う児童の育成」  
～自らの学びの調整力を高める学習の展開～

#### 何ができるようになるか

##### ○学校教育の基本

- ・主体的に学習に取り組み、自分の考えを持ち、深める。
- ・学習の基礎を身につけることで、自分の考えを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする力を養う。

#### 何が身に付いたか

##### ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・疑問や課題に対して、解決方法を選び、主体的に学んでいる。
- ・自分の考えをもち、話し合い活動を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。

#### 児童の実態

- ・課題に対して真面目に取り組める。
- ・異年齢集団での活動が成立しやすい。
- ・語彙が少なく、相手を気遣う言葉遣いがない。
- ・考えを伝え合うことが苦手。
- ・進んで外遊びをする子が多い。

#### 児童の発達をどのように支援するか

##### ○配慮を必要とする児童への指導

- ・個に応じた指導
- ・教職員間で情報を共有し、連携を図る。
- ・SCやSSWの活用
- ・特別支援教育の推進
- ・交流学習の充実

#### 目指す児童生徒の姿

- ・主体的に学習に取り組み、学習課題に対して学び方を選択し、子供同士で学習を進められる子。
- ・異学年同士で協力することができる子。
- ・思いやりのある言葉遣いでまわりの子と接することができる子。

#### 何を学ぶか

##### ○教育課程の編成

- ・少人数、複式学級特性を生かし、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- ・自己調整能力の育成
- ・学年・学級をこえた集団での学び
- ・話し合い活動の充実

#### どのように学ぶか

##### ○教育課程の実施

- ・学びのプランの作成・活用
- ・振り返り活動の充実
- ・複式授業の充実(学習係を中心とした学習方法を身につけ、学習ゴールの見通しを持ち、自分たちで考える。)
- ・ICTの有効活用

#### 実施するために何が必要か

##### ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・学校研究および校内研修の充実
- ・かなや学園内の保・小・中の連携
- ・縦割り班活動の推進
- ・家庭・地域との情報共有、連携
- ・SC、SSW、外部機関との連携
- ・教職大学院の教授等、外部人材の招聘
- ・読み聞かせボランティアの活用
- ・いじめ等に対する迅速かつ適切な初期対応
- ・ICTの活用と環境整備

#### 安心・安全を守る

- ・子供たちの安全確保・学校の安全管理
- ・自分の命は自分で守る安全教育、防災教育
- ・多様な考え方、価値観を認め合える学級、学校の雰囲気

#### 開かれた学校作り

- ・学校開放月間、授業参観、日曜参観、PTA活動
- ・学級通信、ホームページ、保護者連絡ツール等での情報発信
- ・地域の人材、教材を生かした学校作り